



強度行動障害のある方を支える  
「はじめの一步」



社会福祉法人 泉学園

泉学園共同生活援助事業所

管理者・サービス管理責任者 河本章宏



# 泉学園GHでの取り組み

- わかるまで丁寧に、言葉でちゃんと伝える
- みんなと一緒に過ごせることが大事
- 慣れる力を大事にした支援
- 支援者は、準備や段取りよりもその場その場での対応力が重要

# うまくいかなかった支援の積み重ね

- 知識不足（情報収集力のなさ）
- 自閉症の特性はなんとなくはわかっているけど、日頃関わっている利用者に対してはめて考えてみる事ができていない（アセスメントができていない）
- 日頃の業務に追われて新たな取り組みを始める余裕がない（という言い訳）
- 「この利用者さんはよくわかっている」という間違っった思い込み





# 短期入所事業を始めて...

いろいろな方を受け入れていく中で、強度行動障害のあるAさんの利用相談が...



これまで短期入所で利用していたK事業所に本人の状況や支援の方法についてレクチャーを受ける。



とりあえずK事業所での支援方法をそのまま真似して導入することに。

# Aさんが繋げてくれた連携が 「はじめの一歩」に

ウチの事業所だけでは全く前に進まなかったことも...

一つの事例をきっかけに「はじめの一歩」を踏み出すことに



他の支援者にも広がり始め

他の利用者さんの支援にも広がっていく



## 事業所のレベルアップ



「連携」は新たなものを生み出してくれる大きなチャンス！

ぜひ、いろいろな事業所と連携して  
生きづらさや困難さを抱えた人たちが  
暮らしやすい地域にしていきましょう！



# 泉学園GHの取り組みはこう変わる！

- ▶ わかるまで丁寧に、言葉でちゃんと伝える
  - ⇒ その方に合わせた、わかりやすい伝え方の工夫
- ▶ みんなと一緒に過ごせることが大事
  - ⇒ 刺激を整理して過ごしやすい環境設定を
- ▶ 慣れる力を大事にした支援
  - ⇒ 「わかる」ことを大事にした支援
- ▶ 支援者は、準備や段取りよりもその場その場での対応力が重要
  - ⇒ 適切なアセスメントによる適切な事前準備

